

巻頭特集

スケートボーダー 平松 凱さん & 四十住 さくらさん

速く、美しく、高みへ

2020年の東京オリンピックから、
新種目に追加されたスケートボード。

「ストリート部門」と「パーク部門」に分かれ、技の難易度、オリジナリティー、
スピード、ジャンプの高さで得点を競う、迫力満点の競技だ。

岩出市在住、幼なじみにして尊敬し合う仲。
そんな二人の若きスケートボーダーを紹介する。



キックフリップは、つま先でデッキ(板)を押出し出し、ジャンプ中に空中で1回転させる技だ

公園で出会った二人が
切磋琢磨して全国レベルに

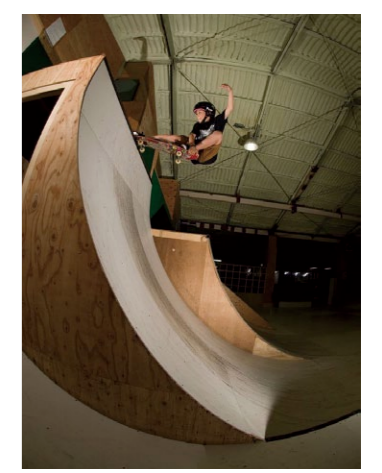
岩出市在住の平松凱さんは、小学1年生のとき、父親の友人の影響でスケートボードを始めた。風を切って走る感覚に魅了され、あつという間に虜になった。8歳の誕生日に父親からボードを買ってもらい、本格的に開始。市内のスケートボードパーク(現在は閉鎖)で、時間を忘れて練習に明け暮れた。

小学5年生のときに出場した「関西アマチュア地区サーキット」では、高校生や社会人たちを相手に奮闘し、総合優勝を果たす。同年10月の「全日本アマチュア・スケートボード選手権」でも、ジュニア部門で優勝。11歳にしてプロ登録資格を得た。

同じく岩出市在住の四十住さくらさんは、小学6年生の夏、13歳年上

の兄からボードを譲り受け、近所の公園で友人と遊ぶようになった。

小学校の卒業式の日、いつものように友人たちと公園でスケートボードをしていた四十住さんの前に、平松さんが現れた。「近所でスケートボード仲間が欲しかった」という平松さんは、四十住さんたちに声を掛けた。当時、すでに大会で結果を残すほどの実力者だった平松さんを見て、「めっちゃくちゃ上手くて、かっこよかった」と第一印象を語る四十住さん。平松さん



2013年まで岩出市内にあった「SkateParkPyxis(スケートパークピキス)」で滑る小学生時代の平松さん。プロスケートボーダー平松凱選手はここから誕生した

は、まだ始めたばかりの四十住さんを見て、「10人ほどいた中で、一番しつかりボードに乗れている子が、さくらちゃんでした」と回想する。

この出会いをきっかけに家族ぐるみ付き合が始まり、中学時代はよく合同練習をした。県内の

PROFILE

Hiramatsu Gai
平松 凱さん

[生年月日]
2001年
7月17日生まれ(17歳)

[中学校]
市立岩出第二中学校

[高校]
県立和歌山高校
(在学中/2年生)

[所属]
現在は無所属

[スポンサー]
J:COM

[自分の性格]
負けず嫌い

[得意技]
バックサイドフリップ、
ミラーフリップ
(平松さんオリジナルアレンジ)

[四十住さんのすごいところ]
何でも挑戦してみると、
高いところでも怖さを感じず、
まずは滑ってみるのがすごい!

[スケートボードの魅力]
友だちがたくさんできるところ

「J:COMで表紙をかざそう!二人の滑る様子が見れます!」



メガプールの縁(へり)を使い、多彩な技を繰り出す

で活躍してきた。種目はほとんどがストリート部門。街中にある斜面、縁石、手すりなどを模した構造物を使用する競技だ。

2017年11月、兵庫県神戸市でSKATEARKが主催した「スケートボード世界競技大会」では、堂々の予選突破を果たす。世界の強豪がひしめく準決勝で惜しくも敗退したものの、「動画サイトに登場するような海外の有名スケートボーダーたちと同じ舞台で戦えた。本当に良い経験になりました」と平松さん。夢は、海外のスケーターたちと一緒に活動することだ。

四十住さんは、中学時代こそストリート部門に取り組んでいたが、昨年からパーク部門(メガプールと呼ばれるボウル状の壁や構造物を使った競技)で活躍する。転向後の活躍は実にめざましい。昨年5月の「第2回日本スケートボード選手権」で国内優勝すると、6月にブラジルで開催された「VANS PARKS SERIES」で優勝。翌月の「X GAME」(アメリカ)で銅メダル、8月のアジア大会2018(インドネシア)

で優勝と、破竹の勢いで躍進している。目下、来年開催される東京オリンピック出場選手候補の筆頭だ。夢は「東京オリンピックで金メダル」



海外の主要な大会に出場しては入賞を繰り返す四十住さん。アジア大会での優勝は、アジアチャンピオンと同義だ。東京オリンピックでの活躍にも期待したい



支えてくれた人々のために
二人の若者がめざす先

四十住さんはほぼ毎日、県外のスケートボードパークで練習を重ねる。「パークと自宅の送迎だけで、往復2〜3時間。分析のために私が滑る姿をビデオに撮ったり、色々サポートしてくれる家族には感謝しています」と四十住さん自身課題を「技の精度を維持しつつ、スピードと高さを上げること」とし、さらなるレベルアップをめざす。東京オリンピックでの金メダルを目標に掲げるのも、「地元の子どもたちに夢を与えたい」と、地域への思いにつながっている。

平松さんは高校進学後、近所のラーメン店でアルバイトを始めた。ほぼ毎週末、大阪府や兵庫県に練習に向かう交通費を稼ぐためだ。「あつちにはストリート部門で活躍する友人がたくさんいる。一緒に練習していて刺激になります」と

PROFILE

Yosozumi Sakura
四十住 さくらさん

[生年月日]
2002年
3月15日生まれ(16歳)

[中学校]
市立岩出中学校

[高校]
県立伊都中央高校
(在学中/2年生)

[所属]
Fice Cross Skate Park
(三重県名張市)

[スポンサー]
willysworkshop、
DC Shoes

[自分の性格]
緊張しない

[得意技]
バックサイドノーズプラント
180アウト

[平松さんのすごいところ]
キックフリップ(トリック技)が誰よりもかっこいい!

[スケートボードの魅力]
かっこいいところ!

てほしい」と思いを語る。

岩出市から世界に飛び立とうとしている若き二人のスケートボーダーを、地域一丸となって応援したい。



同郷、同学年の実力者として、何かと比べられる機会も多い。とはいえ、種目も出場する大会も、目標も別。ライバルというより、朋友という表現がぴったりだ